

10-1 九州地方とその周辺の地震活動（2013年11月～2014年4月）

Seismic Activity in and around the Kyushu District (November 2013 – April 2014)

気象庁 福岡管区気象台

Fukuoka District Meteorological Observatory, JMA

今期間、九州地方とその周辺でM4.0以上の地震は35回、M5.0以上は4回発生した。このうち最大のもは、2014年3月3日に沖縄本島北西沖で発生したM6.4の地震である。

2013年11月～2014年4月のM4.0以上の地震の震央分布を第1図(a)及び(b)に示す。

主な地震活動は以下のとおりである。

(1) 奄美大島近海（奄美大島の北約50km）の地震（M5.0，最大震度3，第2図）

2013年11月16日03時57分に奄美大島近海でM5.0の地震（最大震度3）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、東西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。1994年10月以降、今回の地震の震央周辺では、M5.0を超える地震が時々発生している。2009年10月30日にはM6.8の地震（最大震度4）が発生し、鹿児島県と沖縄県で津波を観測した。津波の最大の高さは、鹿児島県の枕崎で18cm、奄美市小湊で11cmなどであった。1923年1月以降では、今回の地震の震央周辺において、M6.0以上の地震が時々発生している。

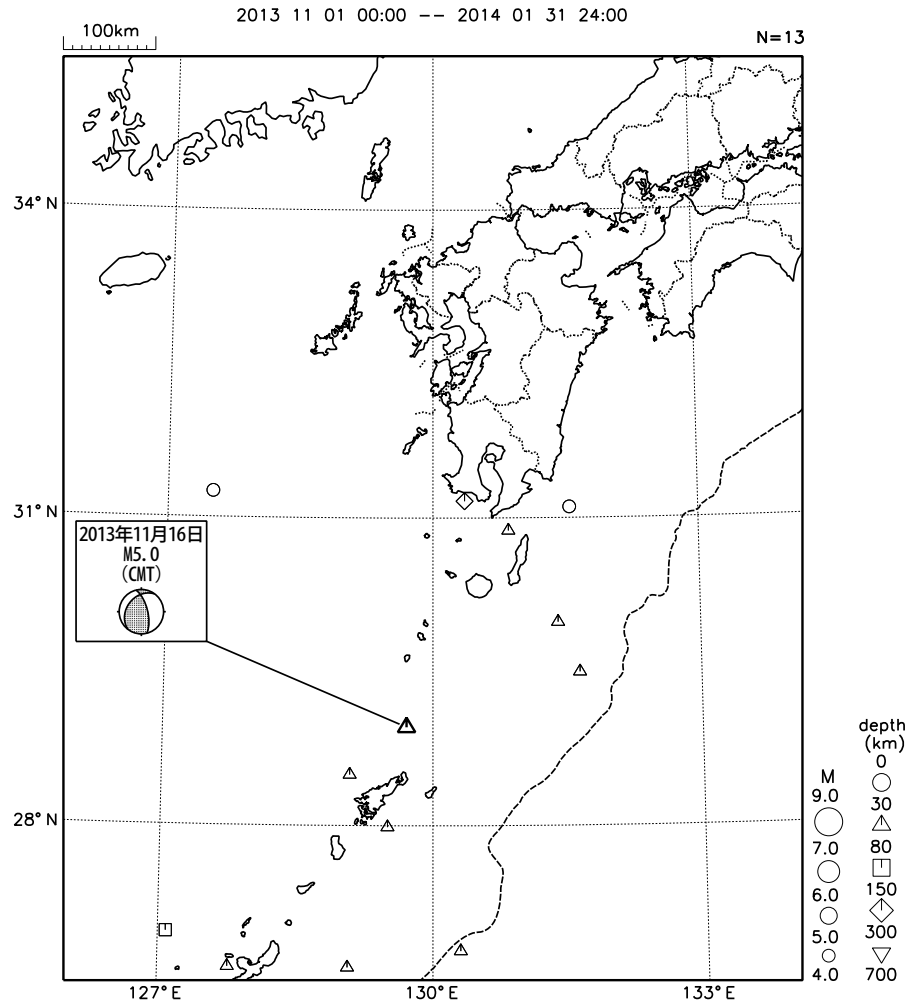
(2) 奄美大島近海（徳之島付近）の地震（M4.5，最大震度4，第3図）

2014年2月2日15時05分に奄美大島近海の深さ46kmでM4.5の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が北北西－南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。1994年10月以降、今回の地震の震源付近では、今回の地震を含めM4.5以上の地震が3回発生している。1923年1月以降では、今回の地震の震央周辺において、M6.0以上の地震が5回発生している。そのうち1970年1月1日に発生したM6.1の地震では、負傷者5人、住家一部破損1,462棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

(3) 薩南諸島東方沖（奄美大島の東約200km）の地震（M5.3，最大震度3，第4図）

2014年3月26日17時49分に薩南諸島東方沖でM5.3の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、南西諸島海溝（琉球海溝）の東側のフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は東北東－西南西方向に張力軸を持つ正断層型である。また同日18時33分にもM4.3の地震が発生した。1994年10月以降、今回の地震の震央周辺では、今回の地震を含めM4.0以上の地震が4回発生している。1923年1月以降では、今回の地震の震央周辺において、M6.0以上の地震が4回発生している。

九州地方とその周辺の地震活動(2013年11月～2014年1月、 $M \geq 4.0$)

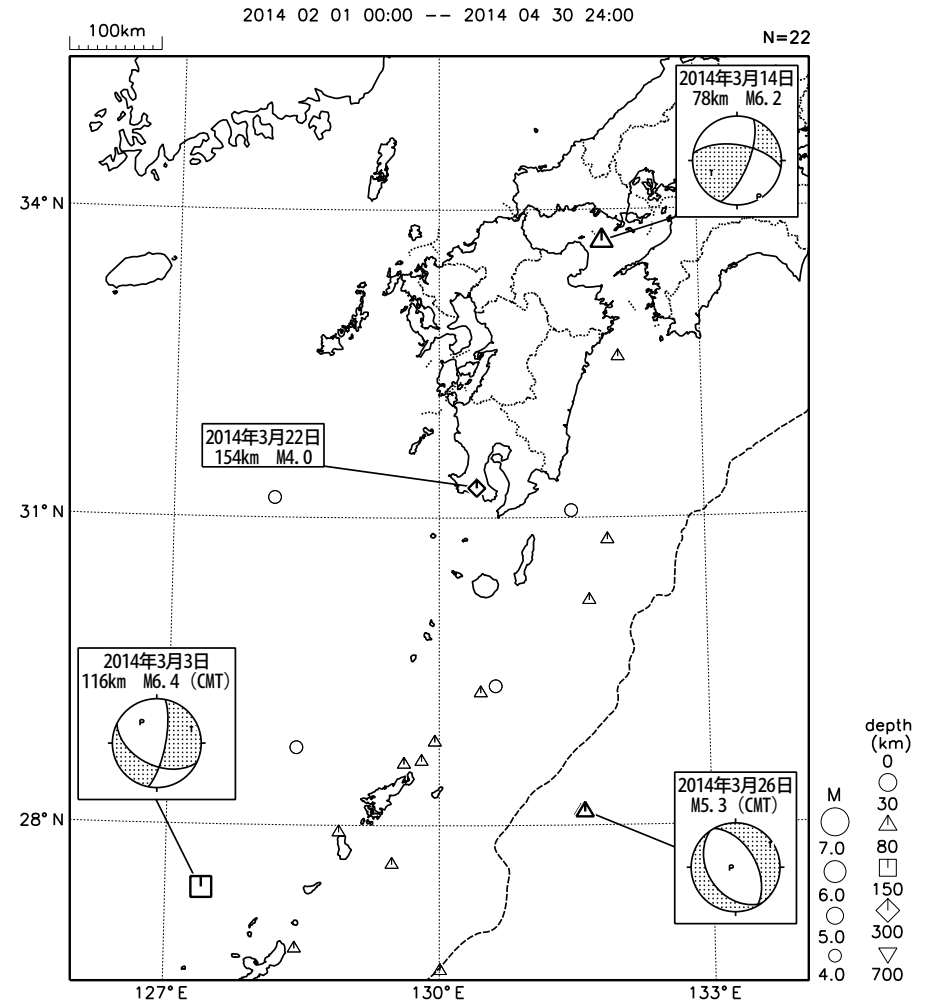


図中の吹き出しは、陸域M4.0以上・海域M5.0以上

第1図(a) 九州地方とその周辺の地震活動
(2013年11月～2014年1月、 $M \geq 4.0$ 、深さ ≤ 700 km)

Fig.1(a) Seismic activity in and around the Kyushu district
(November 2013 – January 2014, $M \geq 4.0$, depth ≤ 700 km).

九州地方とその周辺の地震活動(2014年2月～4月、 $M \geq 4.0$)



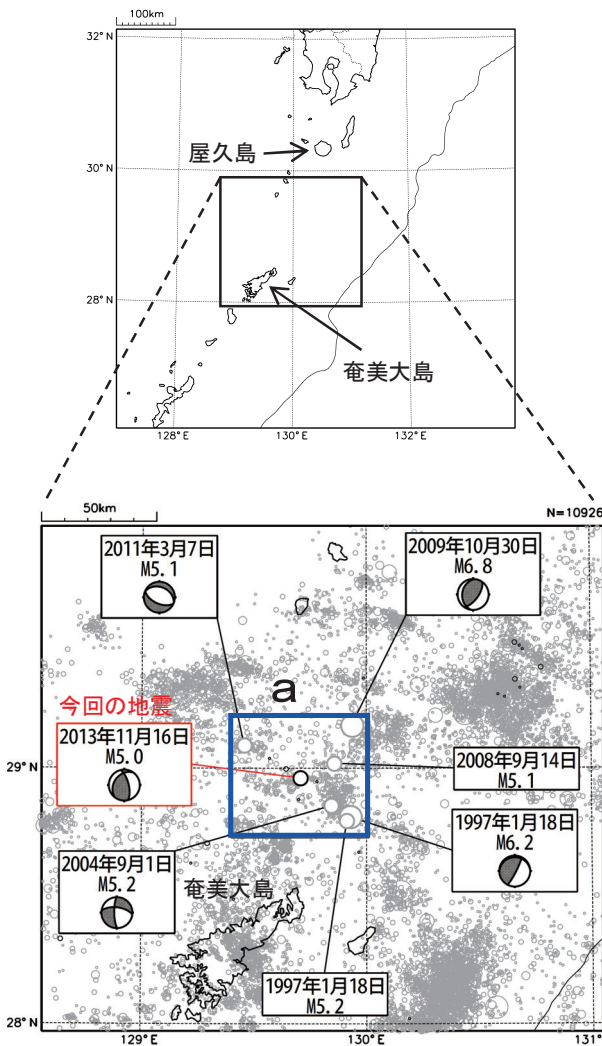
図中の吹き出しは、陸域M4.0以上・海域M5.0以上

第1図(b) つづき (2014年2月～4月、 $M \geq 4.0$ 、深さ ≤ 700 km)
Fig.1(b) Continued (February – April 2014, $M \geq 4.0$, depth ≤ 700 km).

11月16日 奄美大島近海の地震

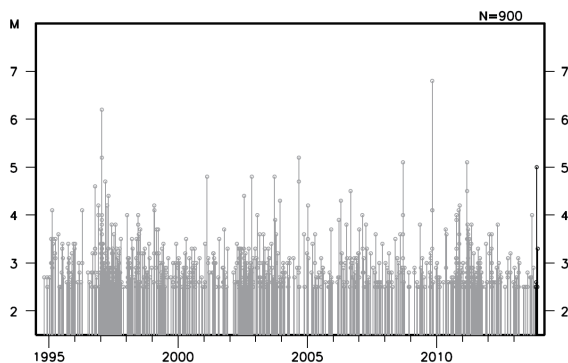
震央分布図

(1994年10月1日～2013年11月30日、
深さ0～90km、 $M \geq 2.5$)
2013年11月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解



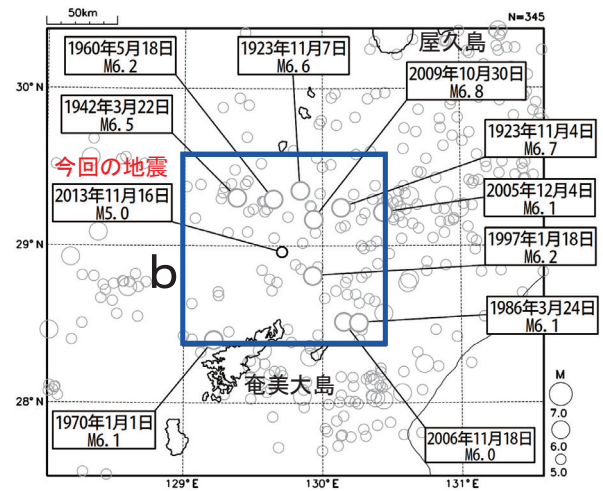
今回の地震とM5.0以上の地震に吹き出しを付けた

領域a内のM-T図



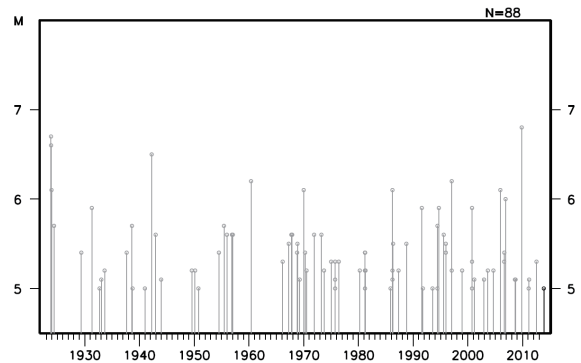
震央分布図

(1923年1月1日～2013年11月30日、
深さ0～90km、 $M \geq 5.0$)



今回の地震とM6.0以上の地震に吹き出しを付けた

領域b内のM-T図

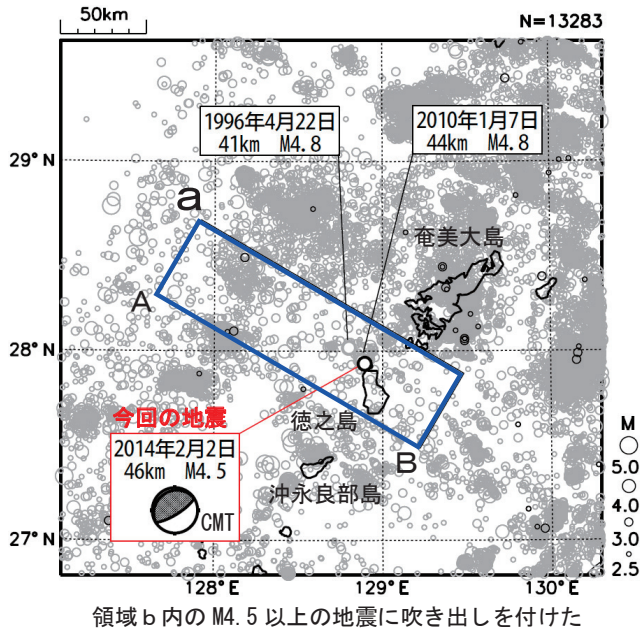


第2図 2013年11月16日 奄美大島近海（奄美大島の北約50km）の地震
Fig.2 The earthquake near Amami-oshima Island on November 16, 2013.

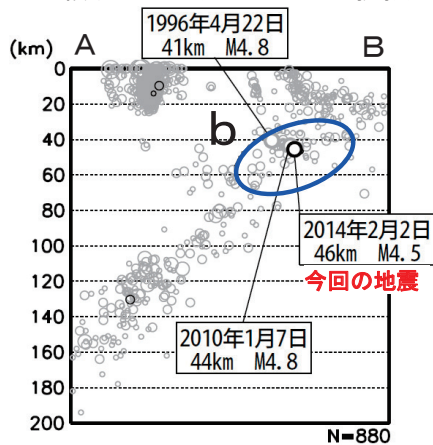
2月2日 奄美大島近海の地震

震央分布図

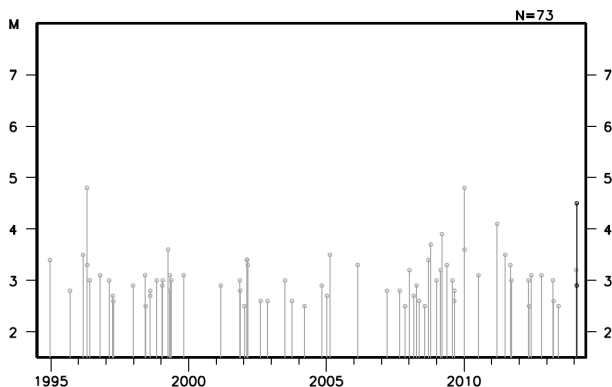
(1994年10月1日～2014年2月28日、
深さ0～200km、 $M \geq 2.5$)
2014年2月の地震を濃く表示



領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図



2014年2月2日15時05分に奄美大島近海 (徳之島付近) の深さ46kmでM4.5の地震 (最大震度4) が発生した。

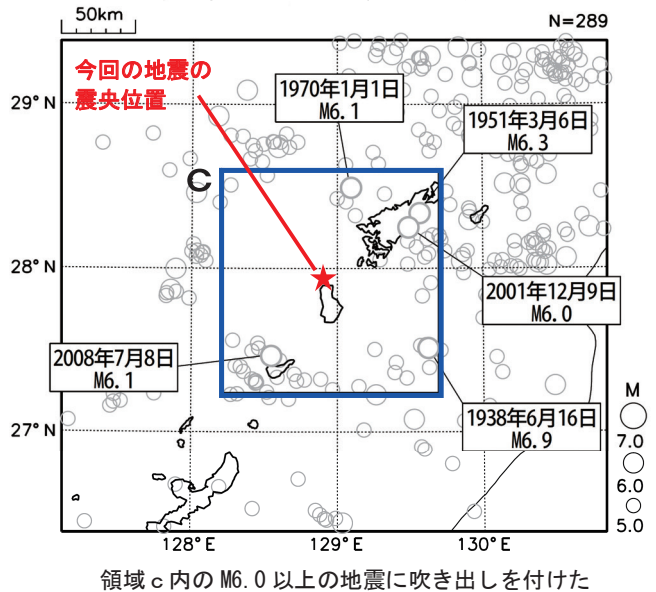
この地震は、発震機構 (CMT解) が北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1994年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、今回の地震を含めM4.5以上の地震が3回発生している。

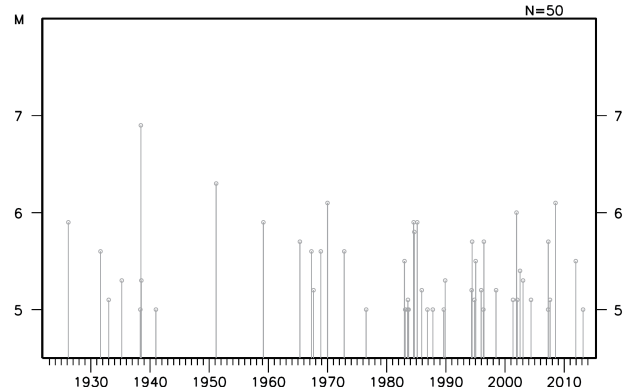
1923年1月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M6.0以上の地震が5回発生している。そのうち1970年1月1日に発生したM6.1の地震では、負傷者5人、住家一部破損1,462棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

震央分布図

(1923年1月1日～2014年2月28日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)



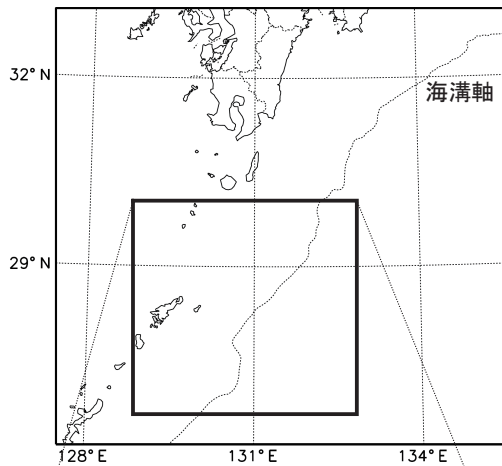
領域c内のM-T図



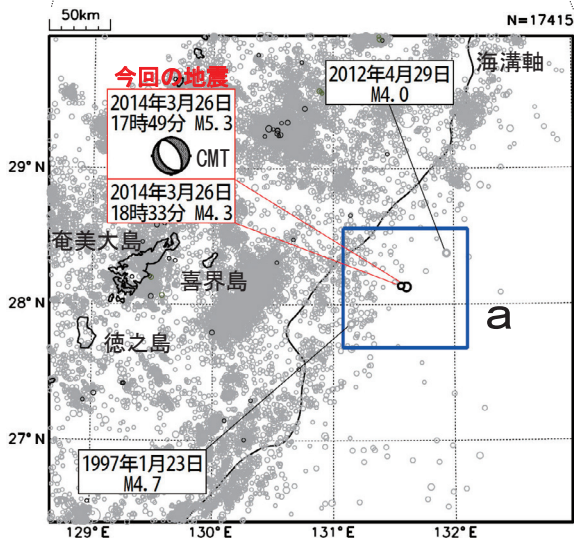
第3図 2014年2月2日 奄美大島近海 (徳之島付近) の地震

Fig.3 The earthquake near Amami-oshima Island on February 2, 2014.

3月26日 薩南諸島東方沖の地震

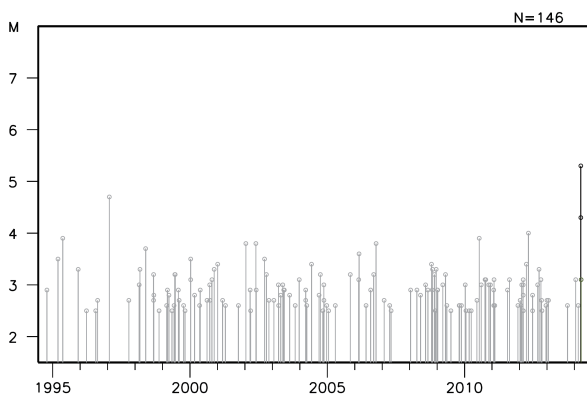


震央分布図
(1994年10月1日～2014年3月31日
深さ0～140km、 $M \geq 2.5$)
2014年3月の地震を濃く表示



領域a内のM4.0以上の地震に吹き出しを付けた

領域a内のM-T図

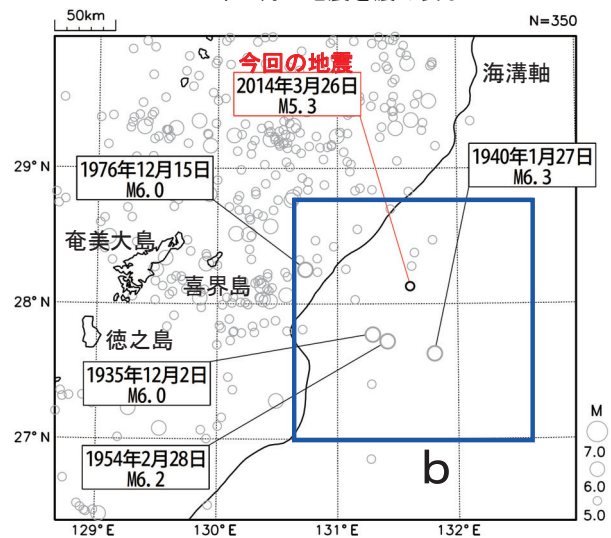


2014年3月26日17時49分に薩南諸島東方沖でM5.3の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、南西諸島海溝（琉球海溝）の東側のフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は東北東－西南西方向に張力軸を持つ正断層型である。また同日18時33分にもM4.3の地震が発生した。

1994年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では、2014年3月の地震を含めM4.0以上の地震が4回発生している。

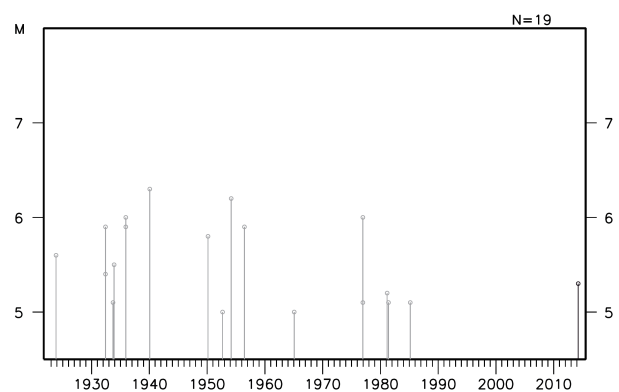
1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震が4回発生している。

震央分布図
(1923年1月1日～2014年3月31日、
深さ0～140km、 $M \geq 5.0$)
2014年3月の地震を濃く表示



今回の地震及び領域b内のM6.0以上の地震に吹き出しを付けた

領域b内のM-T図



第4図 2014年3月26日 薩南諸島東方沖（奄美大島の東約200km）の地震
Fig.4 The earthquake east off the Satsunan Islands on March 26, 2014.